

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 台風第4号については最新の台風予報を参照。
- 20日から21日にかけて、低気圧が中国東北区からサハリン付近に進み、低気圧からのびる前線が本州付近を通過する。
- 22日は、低気圧がオホーツク海をゆっくり東へ進み、高気圧が本州付近を通過して日本の東へ移動する。
- 23日から24日にかけて、前線が東シナ海から本州南岸にのび、前線上を低気圧が東へ進む。

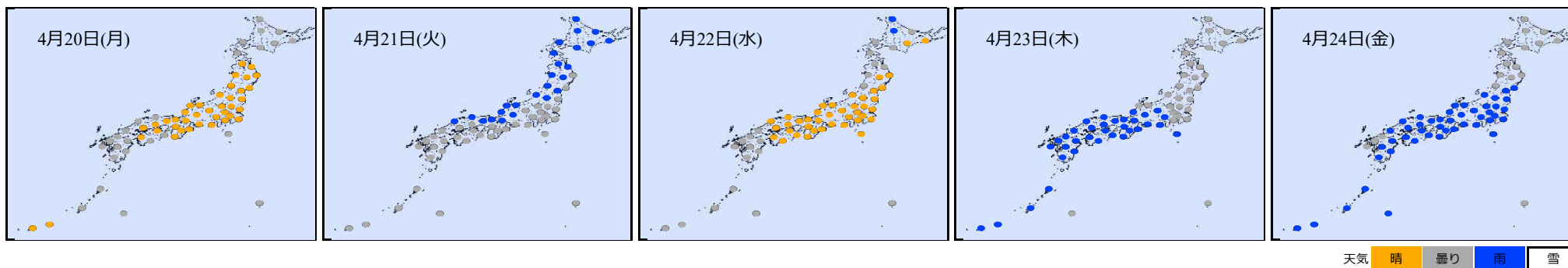
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

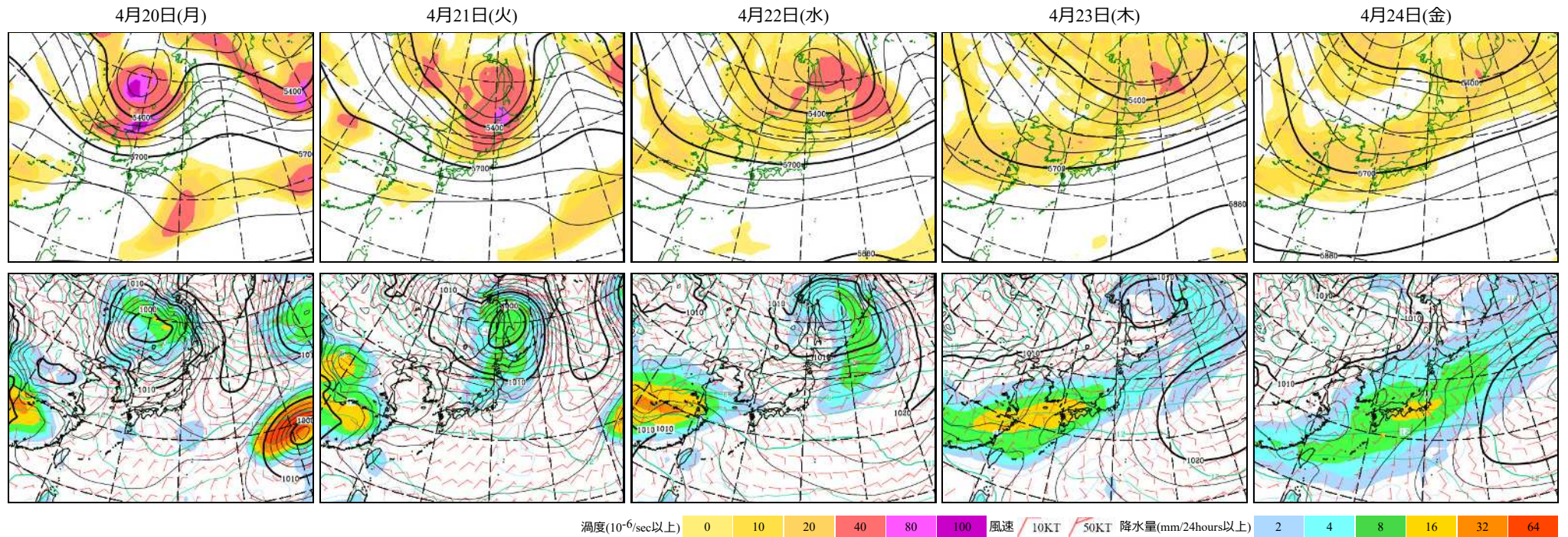
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

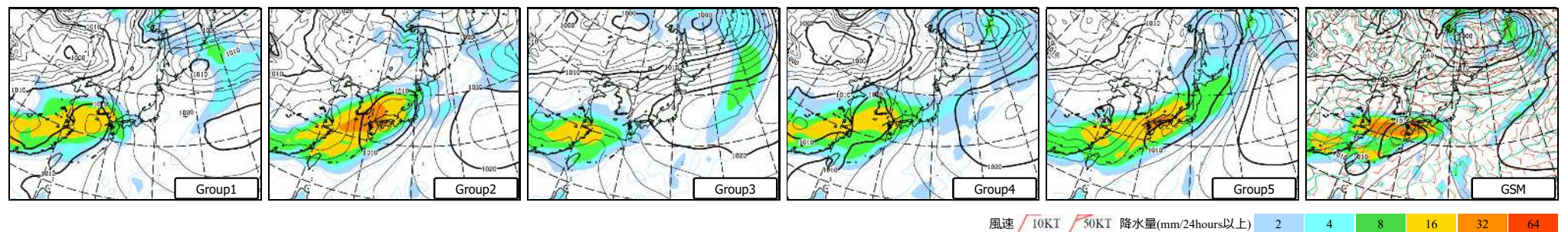


- 北日本は、曇りや晴れの日が多いが、21日は雨の降る所が多い。
- 東日本と西日本は、20日と22日はおおむね晴れるが、21日と23日から24日は曇りや雨となる。
- 沖縄・奄美は、20日から22日は曇りや晴れとなるが、23日から24日は曇りや雨となる。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月23日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、23日は前線の位置が南寄りとなり本州南岸に前線がのびる予想に変わった。このため23日は東日本から西日本の太平洋側を中心に降水確率ガイダンスの値が大きくなった。
- モデル間の差は、20日は小さいがその後は寒冷渦の位置やトラフの進みに違いが見られる。期間の終わりは本州の南岸を低気圧が進む予想でおおむね揃ってきた。
- スプレッドは期間の終わりは大きく、特定高度線のばらつきも大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。